

校内教員研修のために

1 はじめに

近年の産業界の構造的変化や雇用の多様化・流動化等を背景として、児童生徒の進路に関する環境は大きく変化している。そこで、児童生徒が「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されず、諸課題に柔軟に、かつ、たくましく対応し、社会人として自立していくことができるように、学校ではキャリア教育が強く求められていくことは言うまでもない。

実際に、キャリア教育の重要性を感じて、その実践に取り組もうとする学校も少なくないが、推進する上での様々な困難が生じている。中でも、一番の困難は「全教員が意義を理解し、同じ目線で指導が展開できるか」という、教員の理解と協力に関することである。キャリア教育を推進する上で、教員一人一人の十分な理解と認識を確立することは不可欠である。

その手段として、各種の研修に参加することが有効である。そうした研修を積み重ねながら、児童生徒の発達や環境の変化等についての的確に認識し、キャリア教育の実践に必要な知識や指導方法を体得していくことが求められている。児童生徒から離れて、校外の研修に参加することも考えられるが、様々な面で負担が大きくなるので、ここでは、校内で実施できる研修について考える。

2 インターネット上の情報活用

現在では、インターネット上に、キャリア教育推進を支援する良質な情報が豊富にある。キャリア教育に関する研修を支援するサイトやツール、児童生徒が「4領域8能力」を身に付けることを支援するサイトやツール等を活用し、校内研修で教員間の共通理解を図ることができるので、ここに紹介する（資料1）。

【資料1】

キャリア教育に関する校内研修を支援するサイトやツールの一覧

キャリア教育を学ぶため

講話を聴く

キャリア教育研修に関する講義 (独立行政法人教員研修センター)

<http://sweb.nctd.go.jp/jirei.html>

キャリア教育を推進するための指導者の養成を目的とした研修に関する講義の動画を提供。平成16年度～平成18年度筑波大学で行われたキャリア教育を推進するための指導者の養成を目的とした研修～基礎コース～を集録したもの。キャリア教育推進フォーラムにおける基調講演や発表についても集録されている。文部科学省初等中等教育局児童生徒課宮下和己生徒指導調査官「キャリア教育の現状と課題」、東北大学菊池武剋教授「小学生・中学生・高校生の心理的・社会的発達と自己理解」などの講義多数。

資料から学ぶ

キャリア教育推進に関する調査研究（中間報告） (愛知県総合教育センター)

<http://www.apec.aichi-c.ed.jp/shoko/kyariakyouiku/kyariaindex.htm>

研究の内容

<p>(1) キャリア教育の推進に向けて</p> <p>(2) キャリア教育に関するアンケート 愛知県における市町村立小学校、中学校及び県立高等学校の教員のキャリア教育に対する意識と各学校における取組の現状を調査して、今後の「キャリア教育推進に関する調査研究」の基礎的な資料を作成する目的でアンケートを実施した。</p> <p>(3) 学習プログラム枠の開発 「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」（平成 14 年 11 月 国立教育政策研究所生徒指導研究センター）の「職業観・勤労観を育むための学習プログラムの枠組み（例）」において、小・中・高等学校の各段階で育成すべき具体的な能力・態度が示された。これらの能力・態度の育成を目指す学習プログラムの開発に当たり、既に各学校で実施している教育活動全体を、キャリア教育の観点で見直し、活動全体を有機的に関連付けることを意識して取り組んだ。</p> <p>(4) キャリア教育実践例</p>
--

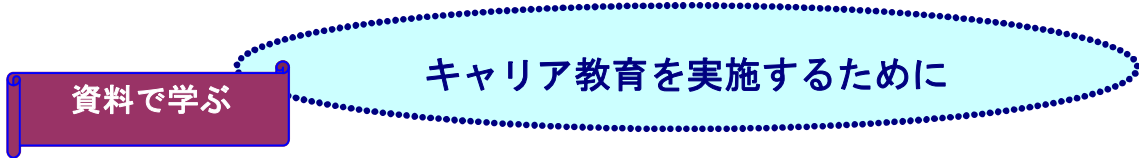
<p>「キャリア教育」資料集 －文部科学省・国立教育政策研究所－研究・報告書・手引編 （国立教育政策研究所生徒指導研究センター）</p>
<p>http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/i-s/siryosyu-zoho.pdf</p>
<p>「キャリア教育」が文部科学行政関連の審議会報告等で、文言として初めて登場した中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」（平成 11 年 12 月）から、「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」平成 14 年 11 月、「キャリア教育に関する総合的調査研究協力者会議（報告書）」平成 16 年 1 月など、文部科学省、国立教育政策研究所等から出された主な研究報告書、手引、資料等を整理。</p>

<p>みやぎキャリア教育プラン （宮城県教育研修センター）</p>
<p>http://midori.edu-c.pref.miyagi.jp/career/index.html</p>
<p>キャリア教育の理解、キャリア教育Q&A、小・中・高校内研修資料、指導案・ワークシートなど。小・中・高等学校の 12 年間を通しての資料が提供されている。</p>

<p>「生きる力」を育むキャリア教育－小学校における理解と実践のためのQ&A－ （栃木県総合教育センター）</p>
<p>http://www.tochigi-c.ed.jp/curriculum/cyosakenkyu/career-h18/h18career_syou.htm</p>
<p>小学校におけるキャリア教育についての理解と各学校における実践を支援するために作成されている。第 1 章「キャリア教育について理解しましょう」、第 2 章「キャリア教育を実践しましょう」、第 3 章「学校全体で取り組みましょう」で構成されている。ワークシートあり。</p>

<p>埼玉県小・中学校キャリア教育指導資料「埼玉県キャリア教育推進テキスト」 （埼玉県教育局）</p>
<p>http://www.pref.saitama.lg.jp/A20/BP00/sinro/siryomenu.html</p>
<p>小・中学校 9 年間のキャリア教育を分かりやすく解説した指導資料。児童生徒・保護者用リーフレットもある。</p>

<p>高等学校における「教科でのキャリア教育」推進のためのガイドブック （神奈川県立総合教育センター）</p>
<p>http://kjd.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/h18kenkyu/pdf/Career.pdf</p>
<p>高等学校におけるキャリア教育の基本的な考え方、各教科の各単元におけるキャリア教育の展開例、各教科におけるキャリア教育の授業実践例など。</p>



職業ガイダンスブック 就職サポータの基礎知識

(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)

<http://start.hrsys.net/guidancebook2007.pdf>

生徒・学生や若年求職者の就職活動を支援する立場にある人が、基礎的な知識や情報のチェックをするときの支援として作成された手引。

資料を使う

竹原市キャリア・スタート・ウィーク

～平成 17 年度文部科学省キャリア教育実践プロジェクト事業～

(広島県竹原市教育委員会)

<http://www.city.takehara.hiroshima.jp/gakumu/kyouiku/career.jsp>

竹原市キャリア・スタート・ウィーク研究紀要を掲載。

キャリア・スタート・ウィークの実践事例とそれに関する資料・書式など。

平成 16～18 年度文部科学省「キャリア教育推進地域指定事業」

片上小学校のキャリア教育 2004～2006

(岡山県備前市)

http://www.city.bizen.okayama.jp/shimin/school/bizen/s_katakami/main.jsp

3年間キャリア教育で使用したキャリア教育推進に役立つ資料を掲載。年間指導計画、指導案、ポートフォリオ、ワークシートなど。

起業教育・キャリア教育テキスト

(仙台市)

<http://www.city.sendai.jp/keizai/koyou/text/index.html>

第1章キャリア教育とは、第2章基本プログラム(自己分析、職業調査、社会交流)等で構成されている。ワークシートが多く、指導用資料もある。

キャリアガイダンス.net

(リクルート)

<http://shingakunet.com/career-g/index.html>

「キャリアガイダンス」「キャリアガイダンス[プラス]」「キャリアガイダンス@メール」の記事(一部)や各種データを閲覧できる他、記事で紹介してあるワークシートのダウンロードも可能。

キャリアカウンセリングを学ぶため

講話を聴く

キャリア教育研修に関する講義

(独立行政法人教員研修センター)

<http://sweb.nctd.go.jp/jirei.html>

キャリア教育を推進するための指導者の養成を目的とした研修に関する講義の動画を提供。

平成 16 年度～平成 18 年度筑波大学で行われたキャリア教育を推進するための指導者の養成を目的とした研修～基礎コース～を集録したもの。筑波大学渡辺三枝子教授による「キャリアカウンセリングについての理解」「多様な相談場面の理解」の講義などがある。

キャリア教育「4領域8能力を身に付けるために」を支援するサイトやツールの一覧

人間関係形成能力 自己を理解する

職業レディネステスト

(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)

<http://www.jil.go.jp/institute/seika/VRT.htm>

ホランド理論に基づく6つの興味領域(現実的, 研究的, 芸術的, 社会的, 企業的, 慣習的,)に対する興味の程度と自信度がプロフィールで表示。基礎的志向性(対情報, 対人, 対物)も測定。
対象者: 中学生・高校生

適性診断システム Career In ☆ Site

(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)

<http://www.jil.go.jp/institute/seika/careerinsite/index.html>

パソコンを使って, 適性評価→適性と職業との照合→職業情報の検索→キャリアプランの, 4つの職業選択プロセスを経験できる, コンピュータを使ったキャリアガイダンス・システム。主に18歳~30歳代前半までの学生や若年求職者が対象。

M I O職業興味チェックリスト

(大阪府職業カウンセリングセンター)

<http://www.pref.osaka.jp/sogorodo/counseling/>

職業興味, どのような仕事に興味をもっているかをチェックする。

Prep-Y 職業興味検査

(大阪府職業カウンセリングセンター)

<http://www.pref.osaka.jp/sogorodo/counseling/>

職業興味, どのような仕事に興味をもっているかをチェックする。

情報活用能力 上級学校を調べる

P A Sカード ホームページ

(図書文化社)

<http://www.toshobunka.co.jp/pascard/>

職業について, 上級学校について調べる。中学生向き。

情報活用能力 職業の情報を集める

キャリアマトリックス

(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)

http://cmx.hrsys.net/TOP/GC_01.php

職業情報とキャリアに関する総合的な情報サイト。約500職種の仕事内容を写真とともに解説。興味, ワークスタイル(価値観), スキルから適職を探索したり, これまでの経歴を分析し, それから適職を調べることもできる。

私のしごと館 JOB JOB WORLD

(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)

<http://www.shigotokan.ehdo.go.jp/jjw/top.html>

いろいろな仕事を紹介するサイト。いろいろな興味から仕事を探ることができる。仕事についての映像や仕事をしている人の体験談を聞くことができ, その仕事に就くための説明がある。

職業ハンドブックOHBY

(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)

<http://www.hrsys.net/ohby/>

現代の主要な 430 職種について、中高生向けに分かりやすく解説した、進路学習・ガイダンスのためのツール。学校での進路指導・カウンセリングやハローワーク・キャリア相談機関で活用することを目的に開発されている。簡単なテストで自分の興味・能力の特性を理解できる。

有望 100 職種ハンドブック (日本商工会議所)

<http://www.cin.or.jp/needs/yubo/main.asp>

100 職種について、仕事の概要、求人ニーズの概要、必要な能力・スキル、能力開発、金銀相場などについて説明してある。

夢ランドー仕事発見ルーム

http://www.j-n.co.jp/kyouiku/yume/01_hakken/top.html

仕事の環境、その仕事になるためには、先輩からのアドバイス、こんな人が向いていますという項目で説明してある。仕事を詳しく知るためのヒントになるホームページを紹介している。

しごとインタビュー (社団法人雇用問題研究会)

<http://www.koyoerc.or.jp/sigoto.html>

「職業安定広報」掲載のしごとインタビューを、生産関連の職業・建設の職業・オフィスの職業などで分類してある。

将来の仕事なり方完全ガイド

<http://kids.goo.ne.jp/island/study/work/index.html>

将来のなりたい仕事を、興味のあるジャンルで検索、長所で検索、50 音順で検索できる。それぞれの仕事について仕事の内容、なるための方法などを掲載。

職業調べナビゲーション未来の仕事を探せ！ (学研キッズネット)

<http://kids.gakken.co.jp/campus/shinro/>

いろいろな仕事についてのなり方を調べたり、どの仕事に向いているかをチェックできる。先輩たちの貴重なアドバイスやメッセージがある。

情報活用能力 職業生活を知る

就職サポートブック For the Young こんなあなたに… (独立行政法人 労働政策研究・研修機構)

<http://start.hrsys.net/supportbook2006.html>

就職活動中の若い人を対象に就職までのステップを掲載。就職情報の見方や就職の基礎知識を掲載。チェックシートあり。

高校生就職スタートブック (独立行政法人 労働政策研究・研修機構)

http://start.hrsys.net/download_startbook.html

就職を希望する高校生に就職活動に先立っての基礎知識を掲載。ワークシートあり。

将来設計能力 将来設計をする

ドリームマップ (株式会社エ・ム・ズ)

<http://www.dream-map.info/>

ドリームマップ研修は、将来の「なりたい自分像」を明確にイメージ&ビジュアル化し、広く周囲に公言し、その認知・受容を得る。それにより、一人一人が自己に対するイメージをプラスに変化させ、その実現に向けた発展的かつ前向きな行動を起こす。

意思決定能力 起業家育成ソフトを利用する

「web 体験版コンビニシミュレーション」 製品版の簡易モデル (アントルビーンズ)

<http://www.kigyokakyoiku.com/sample/conveni.html>

コンビニ経営者となり、どうしたら買ってもらいやすくなるのか仮説を立て、データで検証し、お客様の気持ちを考えて喜ばれるお店をつくる。

「ビジネスゲーム コンビニ経営」 (実教出版)

<http://www.jikkyo.co.jp/>

コンビニエンス・ストアを材料に、「どこのお店に行きたいか、どの商品を買いたいか」という消費者から、「どうすればお客に来てもらえるか、買ってもらえるか」を考える経営者への逆転を体験。問題を見付け、多角的・具体的な視点で解決の道を探る思考方法を身に付けられる。デモ版のダウンロードができる。

「やってみ店長」 (ベネッセコーポレーション)

http://www.teacher.ne.jp/product/s_ytt/index.html

コンビニの経営者となり、出店計画・店舗内設計を行う。体験版がダウンロードできる。

2 キャリアカウンセリングの理解とコミュニケーション能力の向上演習例

(1) キャリアカウンセリングについて

キャリアカウンセリングは、児童生徒の進路や人生設計にかかわる相談に対するカウンセリングであるが、カウンセリングとは大部分が言葉を通して行う援助過程であるので、言語表現力が問われる活動である。そこでは、カウンセラー（教員）がクライアント（来談者＝児童生徒）の自己理解を進め、よい意思決定ができるようになることを援助することが目的であり、そのために、カウンセラー（教員）がその環境をつくり、情報や刺激を提供するのである。

その例として、進路相談の場面では次のことを考えるとよい。

ア カウンセラー（教員）が配慮したいこと

カウンセラー（教員）は、進路相談の場面において、「言うてはいけない言葉」「とってはいけない態度」（資料2）を念頭に置き、自分の進路相談の様子を振り返ることが大切である。

【資料2】

〈言葉〉	×「大丈夫だよ」	→ 安易な保障に受け取られる。
	×「何とかなるよ」	→ 気休めと受け取られる。
	×「みんなそうだよ」	→ 気持ちがはぐらかされる。
	×「心配しなくてもいい」	→ 生徒の気持ちを否定。
	×「とにかくがんばれ」	→ かえってプレッシャーになる。
	× 正しすぎる意見	→ 事実だが、今は言われたくない。
〈態度〉	×無関心な態度	→ 信頼を失う。
	×聞き流してしまう	→ その場限りにせず、継続的に。前回の話を記憶。
	×タイミングを外す	→ その時だから聞いてほしい・話したいことがある
参考資料：メディア教育開発センター「学校教育とカウンセリング」シリーズ『進路指導での実践事例』第6巻		

イ 相談場面について

学校行事に組み込まれている生徒面談もあるが、日常の児童生徒との接触や相談の場面の方が圧倒

的に多いので、そうした日常の相談場面を大切にすることがある。その場合には、短期間で継続的に
行うとよい。こちらから声を掛けて相談を引き出すことも必要になることがあるので、それに対応す
るために、何気ない生徒の言葉やしぐさを逃さずにとらえることが必要である。また、保護者を含め
た三者懇談や、複数の生徒との相談を受ける場合もあるので、教員は様々な場面に
対応する力を付けることが大切である。相談内容については、相談者が置かれている状況を的確に理解し、話の焦点の
当て方を工夫するとよい。なお、個人情報の保護には十分留意することは言うまでもない。

(2) 「コミュニケーション能力」を高める演習

校内教員研修として、次のような演習が考えられる。

ア 演習の方法

3人1組になり、話し手・聴き手・観察者の役割をその場で決め、「キャリア教育を進めるに当た
って、現在直面している自校の問題点」をテーマに、3分間の演習を実施する。

<演習のポイント>

A：話し手 … 聴き手に「分かってもらおう」ということを意識して話す。

B：聴き手 … 話を分かろうとする態度が大切なので、話し手が「もっと話したい」という
ような受容的・共感的態度で臨む。

C：観察者 … 話し手の表情や態度を観察することで、話し手が「本当に伝えたいこと」を
知る。聴き手の様子から、「本当に伝わったか」を読み取る。

イ フィードバック

先ほどの演習に基づいて、内容を確認する。

<確認のポイント>

B：聴き手 → 理解した話の内容を話し手に伝え、内容を確認してもらう。

C：観察者 → これまでのやりとりを見ていて、感じたことを述べる。

A：話し手 → 聴き手の聴き方や観察者の講評を聞いて、感じたことを述べる。

ウ 留意すべき点

話し手として、留意すべきことは、最大限に時間を活用して、テーマについて話すことである。重
要事項についてはジェスチャーを交えるなどして、自分の話したいことが正しくうまく伝わるよう
にするとよい。また、発表中は相手に意見を求めないようにし、語ることに徹する。フィードバックの
際には、自分の話した内容が、正しく相手に伝わっているか確認する。話し方・伝え方の悪かったと
ころを改善工夫することによって、コミュニケーション能力が高まる。また、相手の反応によって話
の内容・量・深度が変わることに気付くはずであるので、どのような反応で話しやすくなり、どのよ
うな反応で不安になるのか体感できるとよい。

聴き手は、適切なコミュニケーション能力で応じ、話し手の発表中は質問をしたり意見を述べたり
はしないようにする。どうしたら話し手が楽に話せるようになるか工夫する。また、面談中のメモは
相手にとってプレッシャーとなるため、必要な記録は後で行うようにする。話しやすい雰囲気づく
りできたか、相手との距離・視線・姿勢・相づち・短いフィードバックの言葉など、相手が話しやす
く感じる聴き方ができたか考察するとよりよい聴き手になる。

観察者は、話には加わらず、話し手や聴き手の様子をよく観察し、雰囲気、話の流れ、雰囲気が変
わるきっかけとなった言葉や聴き手のしぐさなどを観察する。率直な感想を述べる中で、肯定的な評
価が効果をもつので、失敗の指摘よりも成功の確認をするように気を付けるとよい。

エ まとめ

実際のキャリアカウンセリングの場面では、カウンセラーとして教員は、話し手・聴き手・観察者の三つの役割を同時に果たさなければならない。したがって、何らかの問題に直面した児童生徒の生きる力をはぐくむために、教員のコミュニケーション能力を日常的に磨いておく必要がある。

コミュニケーション能力 = 話す能力 + 聴く能力 + 観察する能力

追手門学院大学人間学部教授 三川 俊樹先生の講座より

3 学習指導案作成をとおして

各教科・領域の指導内容を、キャリア教育の視点でとらえ直し、児童生徒の「生きる力」の育成につなげることを考えた単元構想案や学習指導案を作成することは、校内教員研修の一つの活動として、大変有意義である。どの教科・領域の中にも「生きる力」の育成につながる内容が含まれているので、個々の教員で、あるいは、研修のグループワークとして実施可能であり、実際に作成した指導案に従って授業を展開することも可能である。

このような単元構想案や学習指導案を作成する際に留意すべき点は以下のとおりである。

- ① 自校の児童生徒の発達段階や発達課題の達成度を的確にとらえた上で、各学校の実情に応じた学習プログラムの枠組み等を作成する。
- ② それぞれの単元、又は、授業で、付けたい能力を明らかにする。
- ③ 学習内容を設定する上での工夫、学習方法の開発・工夫等を考える。例えば、家庭・地域・企業等との連携や協力による取組を考えることも有効である。

なお、①については、「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」（国立教育政策研究所生徒指導研究センター）の「職業観・勤労観を育むための学習プログラムの枠組み（例）」等を活用するとよい。

このようにして、単元構想案や学習指導案を考えることが、教員の目をキャリア教育に向けるきっかけになるとともに、結果的に、授業を改善することを考えることにもなる。

ここにその成果物の例として、「第3学年 社会科学学習指導案」と「第6学年 総合的な学習単元活動案」を掲載するので、参考にしてほしい。

第3学年社会科学学習指導案（例）

- 1 単元名 人々のしごととわたしたちの暮らし
- 2 目標 買い手（わたしたち）と売り手の両方の視点を持ち、人気のある店（スーパー）の秘密について考えることができる。
- 3 過程

区分・形態	主な学習活動と予想される児童の反応	指導・支援【キャリア教育の評価】
導入 一斉 10分	<p>1 調べてきたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A店に来たお客さんにインタビューしたことを発表しよう</div> <p><どこからきたの?> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇方面, △方面, 〇〇方面… <p><どうやってきたの?> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車, 自転車, バス, 歩き… <p><この店に来た理由は?> <ul style="list-style-type: none"> ・安いから, 新鮮だから, 種類が多い </p></p></p>	<p>・多くの子に発言の機会を与えながら, インタビューの内容ごとに分けて整理して板書をする。</p> <p>【自分がインタビューしたことを基に進んで発言することができたか】 （コミュニケーション能力）</p>
展開 グループ交流 25分	<p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A店の人気のひみつをさぐろう</div> <p>3 グループでA店の秘密について考える。</p> <p><店の工夫> <ul style="list-style-type: none"> ・値段…特価, 本日の目玉商品がある。 ・種類…豊富な種類の中から選べる。 一度にいろいろなものが買える。 ・陳列…見やすく並べてある。 ・鮮度…店の回転がよく, 新鮮。 ・店員…元気がよい, 親切。 <p><お客さんの願い> <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮…おいしくて, 安心。 ・安心…生産者の顔が見える。 ・親切…作り方や保存の仕方を教えてくれる。 ・駐車場…車で行けるので便利。 </p></p>	<p>・インタビューで出てきたことやお店の見学をして気付いたことを基に考えさせる。</p> <p>・考えをまとめやすいようにワークシートを用意し, 「店の工夫」と「お客さんの願い」の両面から考えさせたい。</p> <p>・なかなか意見の出ないグループは, 見学メモから想起させたり, 消費者の立場として考えさせたりする。</p> <p>【見学したことやインタビューしたことを基に店の工夫に気付くことができたか】 （職業理解能力）</p>
終末 個別 10分	<p>4 今日の学習で分かったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な品物を数多く並べて, たくさんのお客さんに満足してもらえるように努力している。 	<p>【A店の人気の秘密について二つの視点から考えることができたか】 （職業理解能力）</p>

4 評価

お客さんが集まる店の工夫について, 調べたことや話し合いを基に考えを深めることができたか。

第6学年 総合的な学習単元活動案 (例)

単元『働く』ってどういうこと? (35時間)

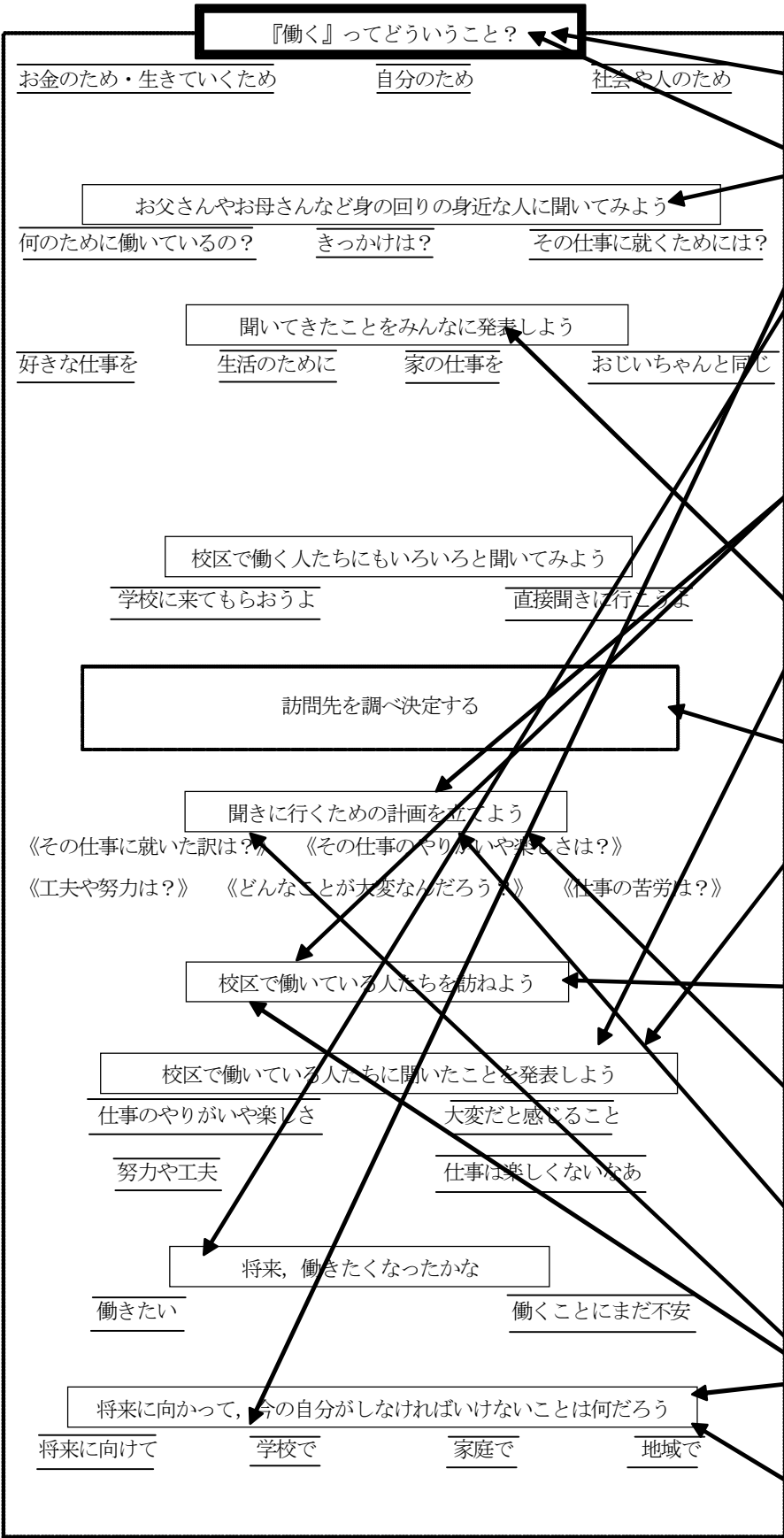
3年「社会」：人々の暮らしとわたしたちの暮らし
：暮らしをまもる
4年「社会」：住みよいくらしをつくる
：わたしたちの県

5年「社会」：わたしたちの生活と食糧生産
わたしたちの生活と工業生産
わたしたちの生活と情報

【他教科等の関連】

【キャリア教育との関連】

- 学活**
後期の係活動を決めよう
- 道徳**
(男女の協力)
- 国語**
気持ちのよい話し方をしよう
・相手の立場や状況などを考えて話をする
とよいことを思い出させる。
- 道徳**
(勤労・奉仕作業・公共心)
- 学活**
自分のよさや友人のよさを知ろう
・自分が気付かない自分のよさを友人からの指摘などで見付けることができるとともに、友人のよさについても積極的に見付けようとする。
- 道徳**
(向上心、個性の伸長)
- 学活**
中学校に向けて
・中学校生活についての豊富や希望をもたせるとともに、小学校を卒業するに当たって自分たちにできることを考えさせていく。



- 自他の理解**
 ・働く、ということに対する自分や友達の考えを知る。
 ・働く、ということに対する考えを深める。
 ・今の自分にできることを考え、実践しようとする。
 ・自分に合った職業について考えることができる。
- コミュニケーション能力**
 ・必要に応じたあいさつができる。
 ・インタビューの仕方が分かる。
 ・自分の知りたいことを的確に聞くことができ、また、相手の考えを理解する。
 ・調べたことを分かりやすく伝えることができる。
- 情報収集・探索の能力**
 ・校区にある事業所について調べることができる。
 ・聞いたり調べたりしたことを分かりやすくまとめることができる。
- 職業理解の能力**
 ・事業所や働いている人たちの仕事の内容等が分かる。
- 役割把握・認識能力**
 ・聞き取り調査の計画、当日の役割について理解する。
- 計画実行能力**
 ・聞き取り調査へ行く際の計画を立てることができる。
- 選択能力**
 ・どの事業所へ聞き取り調査に行くか決めることができる。
- 課題解決能力**
 ・聞き取り調査の内容を決め、自分の知りたいことの解決に努めることができる。